

愛媛県、山口県及び関係市町の対応体制

- 警戒事態で、愛媛県及び愛媛県内の全ての関係市町は、災害警戒本部(伊方町^{いかたちょう}、八幡浜市^{やわたはまし}:災害対策本部)を設置し、山口県及び上関町^{かみのせきちょう}は警戒態勢をとる。
- 施設敷地緊急事態で愛媛県及び愛媛県内の全ての関係市町は、災害対策本部を設置。
- 全面緊急事態で、山口県及び上関町^{かみのせきちょう}は、災害対策本部を設置。
- 関係市町の災害警戒本部(伊方町^{いかたちょう}、八幡浜市^{やわたはまし}:災害対策本部)等では、要員参集、情報収集・連絡体制の構築、住民等に対する情報提供をはじめ、PAZ内及び予防避難エリアにおける施設敷地緊急事態要避難者の避難準備を開始。



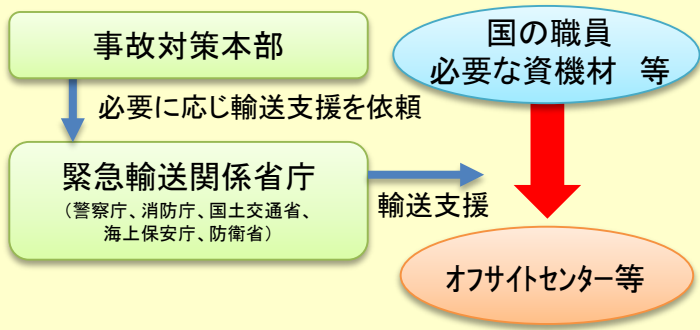
- いかたちょう



国の職員・資機材等の緊急搬送

- 施設敷地緊急事態発生の通報後、あらかじめ定められた100人程度の国の職員等を愛媛県オフサイトセンター及び各県に派遣。併せて必要な資機材の緊急搬送を実施。
- その後、状況に応じて追加要員及び資機材の緊急搬送を実施。

＜具体的な移動及び輸送支援のスキーム＞



②入間基地～松山空港
輸送機（自衛隊）約1.5時間



①環境省・内閣府～入間基地
輸送車両の先導
（警察）約1時間



③松山空港～愛媛県オフサイトセンター
ヘリ（自衛隊）約20分



オフサイトセンターへの派遣（自衛隊、警察による輸送支援の一例）
環境省・内閣府～入間基地～松山空港～愛媛県オフサイトセンター
※平成27年度原子力総合防災訓練の想定を参考